



志津南 news

志津南ホームページ
<http://shizu373.net>

発行
 志津南学区まちづくり協議会
 (事務局) 077-507-6496

まち協だより

第5回理事会 (平成26年10月4日)

- CATV運営協議会より「飛鳥グリーンヒルCATV告知放送の在り方」に関して答申書が提出され、「グリーンヒルCATV告知放送運用規則」の案が提示された。
この規則の案について、各町内会の役員会で審議することとなった。
- 志津南学区まちづくり協議会への加入に関する、追分南町内会との第1回協議が9月9日に草津市役所で行われ、まちづくり協議会に関する概要や志津南学区まちづくり協議会の仕組みなどについて説明した。
- 地域支え合い送迎支援活動を9月1日から開始した。必要な方が遠慮なく利用されるよう、啓発を進めたい。
- 地域史誌の製作について、具体的なことを次回の理事会に提案することとなった。



追分南町内会は今年4月1日、旧追分町内会から分町、正式に追分南町内会として発足して5か月経過した段階で、志津南学区まちづくり協議会への加入について協議の場につきたいとの連絡がありました。

これまで3回追分南地区4町内会のま

追分南が来年4月まち協に

3回の協議経て大筋合意

志津南学区まちづくり協議会はまち協加入に向けて追分南町内会と協議を進めていきましたが、11月4日の3回目の話し合いで会費や役員体制など大筋で合意に達し、来年4月に加入する

ことが決まりました。写真。今後、細部を詰めていく予定です。この結果、追分南4町内会はずべて志津南学区まち協に加入することになります。

追分南町内会は今年4月1日、旧追分町内会から分町、正式に追分南町内会として発足して5か月経過した段階で、志津南学区まちづくり協議会への加入について協議の場につきたいとの連絡がありました。

これまで3回追分南地区4町内会のま

ち協加入については、昨年5月24日、追分南地区の4町内会から志津南地区まちづくり協議会への加入申し入れがあり、その後、かがやきの丘、コージীগार्デ

ン、追分鴨田の3町内会とは協議がまとまり、今年4月1日から正式に加入、志津南学区としてともに活動を行っています。

CATVの運営協議会設置

まちづくり協議会理事会は今年2月9日にCATV検討委員会から提出された最終報告書に基づいてCATV運営協議会を設置しました。

運営協議会は検討委員会で詰めきれなかった諸課題、例えば告知放送基準の見直し、商業放送利用料の活用方法、セキュリティ点検の継続的な進め方などについて、6月15日から鋭意議論を重ね、9月30日に答申書が提出されました。

答申書は従来の「グリーンヒル告知放送運用基準」を下敷きにわかりやすく整理し、「グリーンヒルCATV告知放送運用規則」の制定について提案することにも、常設の運営協議会についても言及しています。

同規則の制定については、若草地区8町内会、青山地区8自治会および松が丘地区4自治会の計20町内会・



牟礼山で自然観察会

環境美化委員会主催の牟礼山自然観察会が10月25日開催され21人が参加しました。写真。

さわやかな秋晴れの中、樹木、草花、キノコ、野鳥にくわしい方三人にそれぞれ説明してもらいながら、志津南市民センターから「りょうぶの道」、立命館大学東ゲートまで約二時間かけて散策しました。樹木の

名前や特徴を聞いたり、キノコを見つけては解説してもらったり。日頃何気なく散歩している道も、こうして注意深く見てみると新たな発見や感動があることが分かります。熱心にメモを取ったり、写真を撮ったりしてそれぞれ楽しみました。

これを機に自然に興味を持っていただければ幸いです。私たちの住む近くにある素晴らしい自然環境がある。大切に守っていきたいものです。

(環境美化委員会)

【おわび】

10月15日発行の志津南ニュースで新しい人権擁護委員の紹介で「増田雅子さん」とあるのは「増井雅子さん」の誤りでした。訂正しておわびします。

資源回収

- 11月16日・12月7日 若草一丁目～五丁目
- 11月23日・12月14日 若草六丁目～八丁目
- 岡本町西
- 11月22日・12月13日 かがやきの丘

- 回収品
- 古新聞(チラシも可)
- 古雑誌・段ボール・古着
- ☆朝9時までに自宅前へ

秋晴れに南っ子運動会



志津南小学校の「南っ子わくわく運動会」が10月4日、同校で開催されました。今年度のテーマは「もえろかがやけ きせき」の力で勝利をめざせです。

今年度は開会式の進行を児童が担当、それぞれが元気によくテキパキと役目を果たしました。開会式では埴岡校長、今井PTA会長の激励のあと、赤・黄・青組の団長が力強く各組をアピール、運動会を盛り上げました。

1・2年生の団体演技は「妖怪たちを連れ 光のダンス」では、カラフルなタオルを上手に使用して、元気いっばい演技をこなしました。

3・4年生の団体演技は「南っ子ソラン2014」。力強い演技で、運動場がまるで海で、そこで漁師さんが本当に漁をしているような迫力ある演技でした。

5・6年生は組み体操に挑戦し「写真」成長 仲間 感謝そして未来へのテーマのもと、日頃の練習の成果を発揮してくれました。子どもたちの真剣な表情とすばらしい演技が披露され、一つひとつの演技に大きな拍手が送られ、運動場に感動の輪がひろがりました。



デイキャンプ楽しく

志津南学区子ども会連合会は10月11日、デイキャンプの活動および目的について、参加する五年生、六年生児童と事前に話し合いました。

5〜6人ずつの四班に分かれて、班の一員としての

自覚を持つため、班活動での役割を分担し、危険に対する心構えをグループワークで行いました。また、デイキャンプをイメージし、飯盒(はんごう)炊きさんの手順を皆で話し合いました。

デイキャンプ当日の10月19日、ロクハ公園デイキャンプの森でアウトドア活動を体験しました。写真。子どもたちは、まずスーパー「スター」で各班に分かれ食材を購入。班長さんは電卓を使いながら予算内に収まるように皆に伝えます。

スターからロクハ公園までは、各自が自転車で一列となつて移動しました。ロクハ公園では、指導者の指示に従いながら、みんなで助け合いながら、まき割り、火おこし、飯盒でご飯炊き、野菜や肉を切り、おいしいカレーを作りました。

町並み保存委員会から

◇屋根や外壁の改修

お母さん 若草に住んでもう二五年になるわね。
お父さん そうだなあ。私達も歳をとったね。
お母さん 私達もそうだけど、家もくたびれてきたわよ。屋根や外壁を直したいわ。
お父さん 思い切って、業者に頼もう。
お母さん ちょっと待って、若草地区は、家を直す時には届出があると聞いたわよ。

お父さん 新築や増築じゃないから、いらなと思うよ。
お母さん 念のために副会長(町並み保存委員)さんに聞いてみるわ。

副会長 若草地区には、良好な町並みを保つために地区計画が定められていて、屋根や外壁の色に原色や蛍光色を使つてはだめなんですよ。それを判断するために、届けを出してもらっています。
お母さん 聞いてよかったわ。早速届けを出します。



【関係条文】地区計画の地区整備計画の中の建築物等の形態または意匠の制限1

副会長 若草の素晴らしい町を皆んなで守っていきましょう！

◇駐車スペースの拡張

お母さん 久しぶりに息子夫婦が帰ってきましたよ。
お父さん いつも車で帰ってくるが、駐車スペースがないから家の前に止めて、ご近所に迷惑をかけているね。
お母さん 思い切つて駐車スペースを広げましょう。
お父さん 若草地区は、ガレージを作るときに届出が

いるんじゃないか。
お母さん カーポートの無い露天の駐車場だから、要らないんじゃないですか。
お父さん 一度、副会長(町並み保存委員)さんに確かめてみるよ。

副会長 若草地区には、良好な町並みを保つために地区計画が定められていて、露天のガレージを作るのに生垣や花壇などの植木を伐採することもありませんよ。そうすると、緑化率(敷地面積の15%以上必要)が変わってきますから、届出

が必要になりますね。緑化率の計算は町並み保存委員にお尋ねください。もちろん、屋根のあるカーポートを設置する場合があります。(建ぺい率、容積率が変わります。)

お父さん 分かりました。届出書をもっていきます。
副会長 良かったです。【関係条文】地区計画の地区整備計画の中の建築物の緑化率による。

初めてのチーム作業に戸惑いもあったようですが、自分たちで作作り、仲間と一緒に食べるカレーの味は大変さを忘れさせるほど、おいしかったようです。食べ終わった後の後片付けもきちんと頑張った子どもたちには貴重な経験をした一日となりました。

(志津南学区子ども会連合会)

かがやき通り



フォト散歩



防災訓練に180人参加 震度体験や消化訓練に汗流す

若草・岡本西ブロック自主防災連合会の合同防災訓練が10月26日午後、若草中央公園を会場に開催され、180名を超える住民、関係者らが参加しました。南消防署の12名の消防士の指導により全員が4班に分かれ、約2時間にわた



深まる秋。冬の訪れとともに、自然はさまざまに表情を変える。樹木は葉を落とし、あるいは黄や赤の衣をまとう。ススキ(芒、薄)はそんな季節にふさわしい。銀色の穂を風になびかせる姿はとても優雅である。ススキはまた尾花とも言われ、秋の七草の一つに数えられる。でも花言葉は「隠退」はともかく「精力」「活力」というから意外に思う。

って震度体験や消火器訓練などに汗を流しました。起震車による震度体験では震度5と震度7の違い、縦揺れと横揺れを実感。地震が過ぎた後も余震や落下物の危険に注意を促されました。写真。煙体験訓練では、煙は上に行くので脱出時には出来るだけ低い姿勢をとりタオルなどで口を覆い、また周囲が見えなくな

ることが多いので障害物に注意しながら壁伝いに進むよう指導されました。消火器を使った初期消火訓練では顔面を守るため低い姿勢で消火に当たること、子供が火事に気付いた場合には親にいち早く伝えるようしつけて欲しいと要望がありました。また応急処置・救出訓練ではけが、骨折時の応急処置方法、けが人の搬出方法、



村井さんに 社会福祉功労者賞

地域サロン「懐メロを歌う会」を主宰する村井教夫さんが10月18日、草津市社会福祉協議会から長年にわたる地域福祉活動の功績を称える社会福祉功労者表彰を受賞しました。写真。「懐メロを歌う会」は平成18年5月に村井さんの発案でスタート、以来8年半にわたって活動を続けています。ギター伴奏者は昨年



豚まんづくり

志津南学区地域協働会校推進委員会は11月1日、三重県伊賀市にある「モクモク手作りファーム」を訪問、家畜とふれあい、豚まんづくりを体験しました。写真。参加した小学3年生から6年生までの児童39名と引率者9名はバス2台に分乗、

倒壊物などで下敷きになった人の救出方法などの要領を教えられました。最後に湖南消防署の松波隊長から災害時には消防署・病院などが混乱をきたす可

能性があるのでまず「自助」を心掛けて下さい。さらに災害時には町内の住民の協力が第一になります。日頃から町内の絆を大切にしていざという時のご近所の助

到着後、雨のため同ファーム内の散策は思うようになりませんでした。4班に分かれた子どもたちはジャージー牛の乳搾りやポニー乗馬、動物の餌やりなどを体験、楽しいひと時を過ごしました。昼食後、ファーム内の教室で豚まんづくりに挑戦。皮作り、具材のカット、具材包みなど、多くの工程がありました。現地スタッフの的確な指導でおいしそうな大きな豚まんを完成させました。

から2名に増えました。お世話をするスタッフ7名も歌好きばかりで、参加者とともに月二回、懐メロを楽しんでいます。

村井さんは受賞に対して「これまで継続できたのも、歌の好きな地域の皆さまのご参加・ご協力のおかげであり、改めて感謝いたします」と述べました。

やすらぎ学級が館外研修

志津南市民センターは10月22日、やすらぎ学級の館外研修を実施、28人が和歌山県有田郡広川町の津波防災教育センター「稲むらの火の館」を訪れました。写真。



「稲むらの火の館」は数々の展示や映像などで防災を学ぶ施設で、この日は大迫力の3D映像の作品を二本鑑賞しました。

こよみ

- 11月15日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
- 11月22日(土)
 - ☆社会奉仕 8:30 若草中央公園集合
- 11月25日(火)
 - ★地域サロン:懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 11月26日(水)
 - ☆やすらぎ学級 13:30~17:00
- 11月29日(土)
 - ★消防訓練と一斉清掃 9:30~12:00
- 12月6日(土)
 - ☆健康ウォーキング(若寿会) 8:45 若草中央公園集合
- 12月9日(火)
 - ★地域サロン:懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 12月12日(金)
 - ☆ふれあいバスツアー 9:00~16:00 ボランティア「泉」
- 12月12日(金)~13日(土)
 - ★ふれあい文化祭 13:00~翌16:00
- 毎週金曜日
 - ☆ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00~12:00 五丁目集会所
- ★印の会場は志津南市民センター(公民館)です

一本目は『その日、命を守るために』『釜石の奇跡』の「津波でんでんこ」。「家族を信じあうこと」で助かった人々が描かれ、「想定にはとらわれるな」「その状況下において最善を尽くせ(あきらめない)」「率先避難者たれ」という避難三原則を強調、津波で死なない知恵を持つことが「作法」ということが紹介されています。二本目は『稲むらの火』安政地震の津波襲来時に、避難の目印として貴重な稲むら(稲束)に火を放ち、村人を救うなど被災民救済と復旧に尽力した濱口梧陵(ごりょう)の功績を伝えるドラマでした。

その後、同センター近くの海岸沿いにある、梧陵が私財を投じて築いた広村堤防を見学し、その偉大さを肌で感じました。参加した学級生は有田み



防げ「振り込め詐欺」

かんや海の幸を手にも、帰りのバスで「さっさと逃げな

あなたはまだまされない自信がありますか?」志津南学区交通防犯委員会協賛の「志津南シニアのつどい」が10月29日、志津南市民センターで開かれ、草津警察署レイクサイドプロジェクトチームが参加者43名に振り込め詐欺などへの対処法をレクチャーしました。写真。

来月、ふれあい文化祭

「志津南ふれあい文化祭2014」(同文化祭実行委員会主催)が12月12日(金)、13日(土)の2日間、志津南市民センターで開催されます。同文化祭は志津南市民センターで活動しているサークルや団体の活動の紹介や成果を発表します。

13時~17時
12月13日(土)
9時~16時
22日に人権講演会
人権教育推進委員会は啓発・学習活動として「障がい者孤立化防止」などについて講演会を次の通り開催します。

▽日時 11月22日(土) 19時~(1時間程度)
▽場所 志津南市民センター 大会議室
▽対象 志津南学区住民
▽内容 三木敏至NPO草津手をつなぐ育成会理事
長が「障がい者の今、これから」と題して講演
▽参加費 無料
▽問い合わせ 志津南市民センター 電話(563)6206

折々の記



かと思うと、ついつい財布を出してしまう観光客もいる。アンコールワットがあるカンボジアの公務員の月給は百ドルぐらいだと聞いたことがある。仕入れ値3ドルぐらいのものを10ドルで売れば、けっこうな収入になる。子どもたちも立派な働き手なのだ。

カンボジア

カンボジアの小学校は無料だが、学校の数が不足しているため、午前と午後

「これはカンボジアの問題です」と現地のガイドが言っていた。「二人の子ども、一人の教師、一冊の本、一本のペン」

「ジュウドル、ヤスイ。」ほったくりの値段を言っているのだが、年端の行かない子どもが頑張っている

(N・H)